南平岸地区町内会連合会創立30周年記念

私たちのまち 南平岸

30th Anniversary 南平岸地区町内会連合会

会長挨拶

南平岸地区町内会連合会
会長
松浦孝之

南平岸地区町内会連合会は、創立30年を迎えることができました。

これも、お住いのすべての皆さまの地域への温かい思いと先輩諸氏の皆さまのお陰だと思います。ここ数年、南平岸は大きく変化しています。マンションや戸建ての住宅建設、そして商店街の変貌など、私たち町内会連合会は一つひとつの町内会としっかり結びつき、住み良く安全なまちづくりに向けて、一層努力を重ねて行かなければなりません。40周年に向けて、今後も皆さまの率直なご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ、ここに謹んでご挨拶とさせて頂きます。

区長祝辞

豊平区長
芝井静男 様

創立30周年 おめでとうございます!

皆さまのこれまでの素晴らしい地域活動の積み重ねに心から敬意を表します。南平岸地区町内会連合会が力を入れている、元気なまちづくり、安心・安全なまちづくり、きれいなまちづくり、そしてウォーキングやパークゴルフを通じた親睦と健康づくり。地域の皆さまで絆を深めながら、ともにささえあうという姿勢が、ぬくもりあふれる暮らしやすいまちにつながっていると感じています。未来に向け、さらに住みよい地域になることを目指して、ともに歩んでまいりましょう!

■天神山の春

■天神藤

■天神山からの眺め

■精進川の滝

■平岸庭球場

■ぼうず山からの眺め

■平岸霊園の秋

約七〇年前の南平岸

いまの南平岸（2021年）

祝辞

南平岸地区町内会連合会
顧問
近藤和雄 様

創立30周年 おめでとうございます。

松浦会長をはじめ「住み良い街づくり」に努力と英知を結集された事に敬意を表します。昨年、平岸開村150年を地元の皆さまとお祝いし、記念碑を私の母校・平岸小学校に建立。記念式典・祝賀会を盛大に開催することが出来ました。町内会の皆さまが支えてくれたものと感謝致します。ますます発展を遂げている南平岸の為に、私も一層尽力したいと決意しております。

祝辞

札幌市立平岸小学校
校長
佐藤達也 様

南平岸町連創立30周年 おめでとうございます。

素敵な街並みと活気ある商店街、歴史薫る天神山の緑と笑顔の皆さま・・・何でも揃う「なんぴら」で育まれる子どもたちはとても幸せです。いつも可愛がっていただいている学校は、これからも皆さまと共に、南平岸の未来を創っていくことのお手伝いをさせていただきます。

祝辞

まちづくり会「いきいき南平岸」
代表
末廣仁志 様

町連創立30周年を お祝い申しあげます。

文化薫る住み良い街をめざし、まちづくり会では「親睦・互助の町内会」「喜びの仕掛けづくりの商店街」「子どもを守り育てる学校」はじめ地域団体がその強みを活かし、思いある人達が連携し活動してきました。人と人との温かな交流こそ、この街の発展の鍵です。ともに手を携え南平岸の活性化 に尽力していきましょう。

祝辞

南平岸商店街振興組合
理事長
上杉明広 様

この度貴会が創立30周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申しあげます。

長きに亘り地域環境を整え、住みよいまちづくりのために安全を守り、そして、地域の親睦に努め、予期せぬ事態に備える皆さまのお姿には、心より敬意を表すと共に、一住民としても感謝申しあげます。今後益々のご発展とご活躍をご祈念申しあげ ます。

私たちのまちの発展

―むかしを知り、未来をみつめよう―

昔のおもかげ

りんご園

1889年（明治22年）ころから平岸にりんご栽培が始まったと言われている。大正・昭和の最盛期を経て戦後りんご畑が住宅地にかわっていった。1966年（昭和41年）平岸林檎記念歌碑を建立。製作・本田明二、歌は石川啄木「石狩の都の外の／君が家／林檎の花の散りてやあらむ」。
りんごは区のシンボルマークになっている。

昭和8年頃のリンゴの収穫

観音通り 平岸中の島三十三番観音 ②

1935年（昭和10年）、精進川の堤防上に道路を新設した。その脇に33体の軟石造りの観音像を置いたので通称観音通りと呼ばれた。戦後、進駐軍によるいたずらが頻発したので、1953年（昭和28年）に一箇所に集めて安置された。

三十三番観音

集団入植・麻畑村 ①

1871年（明治4年）に集団入植してから4年間、平岸は当時、麻畑村と呼ばれていた。製網の原料である麻の栽培が盛んだったためであろう。今でも電柱に表示が残っており、平岸小学校の校歌の中で歌われている。

平岸街道用水路

1873年（明治6年）に精進川の水を平岸街道の中央に通す用水堀が完成。これにより飲み水が容易に手に入るようになった。後に、この用水堀を起点に豊平・白石迄用水路をのばし水田を広げて行った。

本願寺街道終点 ③

1870年（明治3年）伊達市から札幌市の平岸に至る約103km余の道路を開削。現在の国道230号の基礎となっている道路。終点の記念碑が、平岸墓地の角に建っている。

発展

宅地化 マンション

りんご園の後に、最初に市営木の花団地が建ち、次々と戸建て住宅が。現在は交通の便が良く、商業施設と共にマンションが建ち、住みやすい街として賑わっている。

定鉄から地下鉄へ

1918年（大正7年）から1969年（昭和44年）まで、札幌と「札幌の奥座敷」定山渓温泉を結んでいた「定山渓鉄道」。その軌道の後を利用して地下鉄南北線が開通。当初、「霊園前」の駅名であったが今は「南平岸」に改称。

地下鉄『南平岸駅』

商業施設

道道453号（白石・藻岩通）や平岸街道（国道453号）沿いに、3つも大きなスーパーが進出、商業施設や飲食店、医療施設が充実し住み良い街になってきた。

アンパン道路

1910年（明治43年）豊平町役場が月寒に移転。平岸の住人が役場に行けるようにこの道路を造った。工事は地域住民と陸軍第7師団歩兵第25連隊が担い、そのお礼に地元製造のあんぱんを配ったことからこの名前が付いた。
写真は1948年（昭和23年）、旧鐘鱗堂落成法要
平岸・川嶋桂蔵様宅より寺への行列（稚児行列）アンパン道路・鉄道の踏切から高台方面へ（極楽寺提供）。

平岸開村150年記念事業

2021年（令和３年）の平岸開村150年を記念して、同記念事業実行委員会が、平岸小学校正門横に開拓の歴史と遺産を伝える「りんごの碑」を建立。

一本道は自然踏み分け道

○高台の地質と農作物

①ぼうず山公園から西側は、豊平川扇状地（川が運んだ土砂や石）

②一本道から東側は、火山噴火による火山灰地

③１９４５年（昭和20年）頃、地下鉄の西側は、りんご畑、東側（東裏）の低地には水田が作られた。

○一本道（東裏本通り）豊平～平岸霊園線

一本道の南端（平岸高台）と北端（豊平）には、時期は前後するが火葬場と墓地があった。耕作不適地の高台東側住民の霊園誘致運動をキッカケに、墓地・火葬場は豊平から高台へ移転。その後、１９７１年（昭和46年）に地下鉄が開通、「霊園駅」と名づけられる。都市化が進むにつれ、住民から駅名の変更要望がだされ、１９９４年（平成６年）に、「南平岸」に変更された。しかし、高台は「ゆり籠から墓場」までのコトワザのように人の一生に係る火葬場・墓場・寺院・葬儀場・墓石店など、地域住民には、日常生活の中に自然に溶け込み発展してきた。

○一本道（東裏）開拓の歴史

平岸街道の東側は「東裏」と呼ばれ、1880年（明治13年）最初に入植したのは自費移民で、高台の原始林を伐採し、炭焼きで生計を立てていた。その後、開拓の入植者が増えるにつれ、木の切り出しや水田造りで高台に向かって延び、徐々に平岸本村とは異なる生活圏を持つ集落が作られていった。

○一本道（平岸初の米作り）

1889年（明治22年）重延久太郎、卯平さんが東裏に初めて水田を造った。栽培方法の見直し、農機具の改良などを積み重ね、平岸で初めて米作りに成功。

○一本道へ用水路

東裏には小川や湧水があった。水田が増えるにつれ水不足が生じ、1892年（明治25年）平岸・豊平・白石・上白石の四ヶ村共同で用水路を造った。水源は、空沼岳（真簾沼）に至ることから、毎年竜神像を担いで登り「雨乞い」を行った。

平岸火葬場 昭19開設

極楽寺
鐘楼堂落成法要（昭26）⑥

平岸霊園 昭16開設

○一本道～怖い思い出

一本道の北端には、当時、火葬場前豊平墓地・豊平火葬場（1944年（昭和19年）廃止）があり、葬儀がある時は火葬の炎や人魂が見えた。跡地には八条中学校が建ち、今も語り継がれる怪談があるとか……?!

○一本道の終点～人生の終点（火葬場、極楽寺）

平岸火葬場があった頃、霊柩車は極楽寺の鐘楼前に停車～僧侶が打つ「死者を送る梵鐘」の音に送られ火葬場へと入って行った。

～諸行無常～

○火葬場へ走るバス

1956年（昭和31年）バスが一本道を走るようになった。夕方札幌駅前発のバスは、客の大半が平岸四区までに降り、運転手と車掌だけで暗闇の高台へと走る・・・終点は火葬場前～一人車掌が降り、恐ろしさに震えながら、バックーオーライと笛を吹く～誰か後にいる???

○一本道～空に電波飛ぶ

1968年（昭和43年）札幌市街と手稲山が見渡せる高台に、HTB北海道テレビ放送局が開局。同年に開校した東山小学校の校歌の一節に「電波飛び交う高台の～」と謳われている。2018年（平成30年）閉局。惜しまれながら札幌中心部に移転した。

昭31東裏本道り（上は火葬場・霊園）

昭和初期東裏水田風景

空沼岳 龍神象

昭43 HTB開局

昭40東裏5条線のバス

南平岸地区町内会連合会のとりくみ

元気なまちづくり事業

魅力あふれる町内会活動を拡げるために。
親睦・交流・仲間づくりをすすめる元気なまちづくり。

南平岸の魅力発見
ほー!へー!カルタ
交流会

新任理事の
交流会

町内会への
参加を呼びかける
リーフレット
作成

市長・区長・
町連会長表彰

あなたの町内会は?
南平岸商店街
振興組合夏祭り
ブース出店

安心・安全な
まちづくり事業

町内会の強み「隣近所の助け合い・顔の見える関係」を防災・防犯・交通安全に活かす。
子どもから大人まで安心・安全に暮らすまちづくり。

交通安全を
呼びかける
「市民総ぐるみ運動」
街頭啓発

災害時も行動する
町内会避難所
開設研修

飲酒運転防止
啓発活動

違法路上駐車
パトロール

きれいなまちづくり事業

街路を花で彩る
とよひらHANA-LAND
事業協力

まち・人・暮らしをうつくしくする町内会の取り組みを支援。ごみ減量・資源化、環境美化を提案するきれいなまちづくり。

まちをきれいに
クリーンウォーク

ごみの減量を
学ぶごみ懇談会
札幌市出前講座

ごみ処理
施設見学

胆振東部地震発生

2018年(平成30年)9月6日(木) 午前3時7分

南平岸地区の小・中学校でも避難所が開設され、町内会の日頃の研修が活かされました。

地震規模　①最大震度７(北海道初:厚真町)、地震規模(マグニチュード6.7)②東区(震度５以上)

被　害　①死者42人　②重軽傷者762人　③斜面崩壊　④住宅倒壊　⑤断水他　⑥道内全域に大規模停電(国内初ブラックアウト)　⑦清田区(液状化現象で住宅被害多数)

於／平岸小学校

皆さまの温かい
お気持ちに感謝
みなみひらぎし
一円玉募金

南平岸地区町内会連合会
創立30周年記念祝賀会

2024年(令和6年)1月28日(日)
於：ANAクラウンプラザホテル札幌

町連文化部の活動紹介

ウォーキング南平岸

●会員数／令和5年度は72名
毎年3月頃回覧にて会員の募集をしています。

●会　費　／入会金1,000円のほかに、行事により参加費が必要です。

●活　動　／4月に総会
5月から10月の各月例会開催
札幌市内や札幌近郊（バスで移動）でウォーキングをします。

お問合せ・申し込み窓口

●ウォーキング南平岸
●南平岸パークゴルフ愛好会
南平岸地区町内会連合会
TEL 011-814-1440
MAIL minahira.choren@gmail.com

安平町鹿公園

小樽運河

私は、15年来ウォーキングをして健康を保っています。春夏秋冬四季折々の景色を見、春は桜、夏は紫陽花、秋は紅葉等を愛でながらウォーキングをしています。また、仲間とのコミュニケーションで心の健康にも役立っています。ぜひご一緒にウォーキングを始めませんか。

平岸こぶし町内会
岩城隆一さん

ウォーキング南平岸に参加して、毎年新しい所へ行けるのが楽しみです。そして、この時だけお会いする会員の方々の元気な姿を、新年度お見かけするのが嬉しいですね。もう一度行ってみたい所は「神仙沼」です。今度は紅葉の季節に皆さんと散策を楽しみたいです!

南半岸第二町内会
大塚英津子さん

栗山公園

南平岸パークゴルフ愛好会

●会員数／令和5年度は64名
毎年2月頃回覧にて会員の募集をしています。

●会　費　／入会金1,000円のほかに、月例会ごとに参加費が必要です。

●活　動　／2月に総会
5月から10月の各月例会開催
愛好会の広報誌「なかまっち」を発行しています。
札幌近郊のパークゴルフ場にバスで移動しプレーをします。

いわみざわローズパーク

朝日プラザ平岸台町内会
田上耕三さん

会のホームグラウンド「輪厚国際パークゴルフ場」を中心に、競技志向に偏らず会員の親睦を図りながら心身ともに健康で過ごせるよう会の運営がされています。春は桜、夏はバラ、秋は紅葉と、季節によりプレーヤーを楽しませてくれるパークゴルフ場もありますよ! 町内会員の皆さん、ご一緒にプレーをしてみませんか。

会では、大会成績などの活動状況を伝える広報誌「なかまっち」を発行しています。男女別に1位から3位と36ホール中10位までが入賞者として掲載されます。また132パーまでの方々も掲載されます。「なかまっち」に掲載されるよう日々皆さん頑張っている姿をよく見かけますよ! 私もその一人です。緑の芝生に癒されながら毎回プレーを楽しんでいます。

三川パークゴルフ場

エルムパーク西の里

南平岸中央町内会
石渡悦子さん

若者 × 町内会ベテラン
「南平岸を語る、未来を語る!」
座談会

会　場：南平岸会館 会議室（2023年12月26日）
出席者：松浦孝之（南平岸地区町内会連合会会長/南平岸第二町内会会長）
新井　潤（南平岸地区町内会連合会副会長/南平岸第十町内会会長）
片庭　將（平岸高台第八町内会会長）
石川璃人さん（札幌龍谷学園高等学校１年/市立平岸小学校出身）
山端志響さん（東海大学付属札幌高等学校１年/市立平岸小学校出身）
丹野さくらさん（市立陵陽中学校２年/市立平岸高台小学校出身）
米田朱織さん（市立陵陽中学校１年/市立平岸高台小学校出身）
進　行：橋本さおり（南平岸地区町内会連合会事務局）

松浦さん

松浦：高校生の頃から60年、このまちで暮らしています。当時の思い出といえば、土を掘ればオケラが出る、蛇も出る、自然溢れる場所でした。南平岸の気に入っているところや思い出話を、皆さん聞かせてください。

片庭：南平岸は昔、地下鉄の駅名が「霊園前」で、かつては火葬場がありました。今も寺や葬儀場、墓地といった人が生まれ亡くなるまでに関わる施設が暮らしと隣接している場所。こうした環境が忌み嫌われず日常に溶け込む姿が、このまちの特徴だと思っています。

新井：昭和53年に京都から札幌に転勤でやって来ました。京都にいた頃は自宅から職場のある大阪まで1時間半かけ何度も乗り換えて通っていたんです。ところがこちらに来たら、地下鉄南北線を使ってドアtoドア30分。天国だと(笑)。南平岸って暮らすのに便利なまちだなぁという印象が、当時からありますね。

米田：昔の建物と新しい建物とがうまく調和し、所どころ自然もあって気持ちが和むのが南平岸の好きなところです。面白くて気に入っているのは南平岸駅。地下鉄なのに地上にあるなんて不思議で、ちょっと得した気分です。

丹野：まさに家の前が霊園なんですよ。目の前にパーッと広がっていて、小さな頃からお墓で遊び、犬の散歩やランニングをしていました。「家の前がお墓って怖くないの?」とよく友達から聞かれますが、自分にとっては小さい頃からお世話になっている大切な場所。これも南平岸の良さだって思います。それからご近所の人と仲良くさせてもらえているところも、いいなと思っています。

山端：好きな場所は「天神山」です。集まって卓球して、ワイワイ騒げる天神山アートスタジオもあって、小学生の頃はよく遊んだ場所。相馬神社のお祭りではお神輿に参加したこともあります。こうした交流を通じて、友達と仲が深められたことが良かったです。

新井さん

石川：南平岸は、お店やコンビニなどが近くにたくさんある地域。移動も地下鉄などがすぐに利用できます。とても便利でいい場所だと感じながら、毎日暮らしています。

松浦：南平岸では今、マンションや戸建、お店もどんどん増えて、市内でも人気エリアの一つだね。

■子どもにとって大切なのは のびのび遊べる環境があること

米田：よく遊んだのは平岸高台公園「通称onちゃん公園」です。小さい頃は両親と遊具で遊び、小学生になったらスキー練習やソリ遊びをしました。それから平岸台公園にも行っていたかな……。

新井：最近整備した公園だね。でも前は何にもない感じの公園だったような……。

丹野：小学生は何もないほうがいいんですよ。走り回れるから。

新井：なるほど!

片庭：公園は今、遊具があるのが当たり前だよね。何もない場所で自分達の遊びを考えて、好きに遊ぶことができない時代だ。だからこそ何もない公園、場所があっていい。遊具のない公園に思い出があるって、すごく新鮮だな。

石川：僕は消防署のそばの、平岸まつ葉公園や平岸太陽公園でいっぱい遊んでいました。

山端：平岸小の校庭でも野球したよね。何もないところで。

丹野：ボールは公園では禁止ですしね。

片庭：投げてぶつかったら怪我する、物を壊してしまうからだと思うんだけど、さまざまな遊びを子どもはしていいはず。そのなかで年上は年下に配慮するなど子ども自身が考える。大人がそれを任せないのはいかがなものかな。私の子ども時代は、野原で野球する、草を盛り上げ基地を作る。今ならきっと怒られるけれど、敵味方に分かれて敵の陣地にロケット花火や爆竹を打ちこんだりもしたなぁ(笑)。

片庭さん

石川：うわぁ、ぜったい楽しい。いいなぁ(笑)。

片庭：世の中は今、安全ばかりを言うけれど、平和な暮らしと危険は紙一重だと子どもの時分から体験して覚えることも大事。さすがに危ないことをやれとは言わないよ(笑)。ただ、将来さまざまな判断をする時のために、自由に遊んだ体験は必要だと思うなぁ。

米田：自発的に行動できることが大切なんですね。

新井：思いやることもだね。

片庭：大人や学校がとやかく言うのでなく、関わりのなかでその場の決まりが自然に生まれることが一番大事だよね。小さい子が年上の子に優しくされたら、いずれ同じようにできる。そんな縦横の繋がりが生まれる公園が南平岸にあればいいな。

■考え方や世代の差を認め合い 人と知り合うことは楽しい

――先程、お祭りに参加した話がありました。

山端：友達に誘われ何度か。お神輿で回ると皆さんから賽銭を入れてもらえるんですが、二人が右左に分かれて集める。どちらが多く集められるかを友達と競い、ヒートアップしすぎて大人に注意された思い出があります(笑)。

石川：僕も参加しました。皆さんが入れてくれるのが嬉しくて、一緒にヒートアップした一人です(笑)。所どころ休憩場所があってお菓子やお弁当で労ってもらい、楽しかった。

片庭：お神輿が行くと高齢者施設の人が喜ぶんだよ。何時頃着くと伝えておくと、待ってくれている。手を叩いて喜んでくれるの。だから来年も人を集め、頑張ってやろうって思うよ。

米田：陵陽中では今年、高齢者の方に年賀状を書いて送りました。年齢の異なる人との交流を大切にできたらいいな。

松浦：多世代・異年齢が一つの地域に集まって暮らしているのが町内会。隣りには幼い子、こちらには高齢者と幅広い年代層が身近に暮らす固まりです。縦横の交流が町内会活動でもっと創れたら、暮らしが断然違ってくる。

丹野：うちはマンション暮らしですが、隣りから魚もらいます(笑)。

山端：うちもマンション。会えば喋るし、ものをもらいますね。

片庭：どちらかと言えば戸建は今、高齢者だけの世帯が多い傾向があって、表に出て交流したがらない。

新井：高齢者世帯の戸建が多いのは、私の町内会もです。かつては子どもがいっぱいいたけれど、大人になったらみんな他所へ出て行く。町内会で何かしようにもフットワークが悪くて、頭も古くなる一方で活性化しない(笑)。

松浦：それでも例えば夏休みのラジオ体操などでは、子ども達のためと協力してくれます。子どもが参加するとなると「よし、オレも行って頑張ろう」と活力が出る。年寄りが年寄りのためにやったって、あまり力が入らないよね(笑)。

――地域にこういうことがあればいい、こうしたいといった夢があれば聞かせてください。

山端さん

石川：僕、めっちゃボウリングが好きなんです。ボウリング場を南平岸に造ってしまうとか、どうですか(笑)。

若者・ベテラン：おおお!

片庭：世代を超えて楽しめるよ(笑)。

石川：わざわざ遠出しないとないんですよ。それに中高生が集まれる場所が少ないですよね。

丹野：ボウリング場は造れなくても、町内会で借りて賞が出るような交流会があったら楽しいかも。中高生の部、大人の部などがあれば、参加が増えて、きっと盛り上がります。

石川：それ最高ですね(笑)。

新井：世代を超えて、集まるきっかけになるね!

片庭：雪のお祭りはどうだろう。そういえば雪の遊びをしている子を、この頃あまり見かけないなぁ。

米田：登下校に雪玉投げてはダメってルールがあるんですよね……。

松浦：えっ! 雪という立派な道具がせっかくあるのに?

米田：雪のような自然、地域の特色を活かす取り組みがあればいいと思います。

丹野：自然を守ってまちをきれいにする「ごみ拾い」を、地域全体でするのはどうでしょう。

新井：「ごみ拾いスタンプラリー」で町内のポイントを回り、拾ったごみのキロ数で順位が決まるとかね。

石川さん

松浦：目指したいのは、隣近所いっしょに取り組んでよかったねと達成感・連帯が生まれることだね。

片庭：平岸霊園の活性化ってどう思う? 霊園はこの先もここにあるわけでしょう。もうちょっと整備すべきじゃないかって思うの。みんなが遊べる公園のような明るいお墓にしたっていいんじゃない? イメージだって変わるでしょ?

新井：京都だったら五山送り火がある。平岸霊園でも、お盆の時期を盛り上げるアイデアは出てくるよね。

丹野：ここ来る時に霊園を通ってきましたが、動物の足跡がたくさんありました。霊園は静かな場所であってもいいのかなとも思うし、でも明るく活性化されるほうがいいのかなとも思う……。

――賑やかなイベントがあれば活性化しているかというとそうとも言えない。日常の静けさも魅力という意味ですか?

丹野：そうですね。お盆の時期だけイルミネーション等で明るくお迎えしましょうというのはどうでしょう。

■多世代が集い、語らう場づくりが 南平岸の未来を拓く鍵に

松浦：盆踊りもどんどんなくなっています。

片庭：担い手問題に加え、宅地化・都市化で「うるさい」という人も出て来たからね。でも何か言われても本当はすぐ止めてはダメなんだよね。「うるさい」と「賑やか」とは違うでしょう、楽しい思い出づくりは大事でしょうと話し合いが続けられたらいい。止めるのは簡単、復活するのは大変さ。

松浦：私の町内会では今年度若手役員が中心になって「仮装盆踊り大会」をして盛り上がりました。これまでに捉われず、若い人も参加したくなる取り組みを考えるのも大事だね。

――町内会の手伝いを、声がかかるならやってみたいですか?

石川：はい、声をかけてもらえたら。

山端：出会うきっかけですよね。

――具体的にどういう仕組みがあればいいでしょうね。

丹野：町内会でイベントを企画しても、学校にプリントを配るだけでは生徒はあまり参加しないと思うんです。生徒会とコラボするなど、いっしょに取り組めたら興味を持って参加する人が増えるのではないかな。

松浦：各町内会から5、6人と、地域団体、学生が集まって、まちづくりの方向性や新しい取り組みについて語り合えないだろうかね。顔を合わせ、次世代へとバトンを繋いでいきたいな。

丹野さん

山端：先ほど話した天神山アートスタジオは開放的で卓球台やイスがあるという理由で、結構な数の若い人が集まり喋っています。

松浦：イベントではなくて、人が日常的に集まれる場所だね。

丹野：自習室も図書館もこの近くにはないので。

石川：地元にいるんだから、よそに行かず地元で友達と喋れたら一番いいなあ。

山端：スポーツ施設があればいいんじゃないかな。

石川：楽しくなるねえ(笑)。

丹野：地域に暮らす学生達も含めた町内会の委員会を定期的に開催してはどうですかね。学生の意見を取り入れることで、変化が起こったまちづくりの例を聞いたことがあります。

新井：この会館でも空いている時間を、居場所として使ってはどうだろう。雑談の中から、楽しい話も出てくる。何曜日のこの時間帯は必ず若い人のために開いていますよと。

米田さん

片庭：そうした場があれば、若い人を起点にさまざまな人の繋がりが生まれ、新しいアイデアが拡がっていくかもしれないなぁ。

参加した若者達からは「まちづくりには変えたほうがいいこと、大切に続けていくべきことがあると感じた」「同世代の友達の集まりも大事だけれど、異世代の人と話すことは自分の強みになり、成長になる」「昔の体験談はおもしろく刺激的。今は制約が多いけれど、町内会活動を通じて楽しい取り組みやあそびがどうしたら実現できるか考えさせられた」といった感想が聞かれました。若者はお客さんではなく、頼もしいまちづくりの担い手だとベテランチームは再認識! 開かれた場やきっかけづくりから、行動する人の輪が拡がる可能性を感じる座談会となりました。
（紙面の都合で座談会の内容は抜粋して掲載しています。今後ほかの方法での紹介を検討します）

お住まいはどの町内会エリアですか？

南平岸地区の町内会

町内会名	
1	南平岸天神山
2	南平岸第二
3	南平岸中央
4	南平岸第五
5	南平岸東
6	南平岸駅前
7	南平岸第八
8	南平岸第九
9	南平岸第十
10	平岸南ケ丘
11	GSハイム平岸
12	メゾンドルチェ平岸第3
13	平岸高台第一
14	平岸高台第二
15	平岸高台第三
16	平岸高台中央
17	平岸高台第五
18	平岸高台第六
19	平岸高台第七
20	平岸高台第八
21	平岸南
22	緑風
23	朝日プラザ平岸台
24	センチュリーハイム第三
25	平岸こぶし
26	平岸公団
27	ヒルタウン平岸
28	リーベスト南平岸

記念パンフレットの制作にあたって

南平岸地区町内会連合会が創立30周年を迎えるにあたり、その記念事業の一つとして、気軽に手にとっていただけるパンフレットを発行しました。南平岸地域の自然や歴史の豊かさを紹介し、町内会および町内会連合会の取り組みを広く知っていただけるよう努めましたが、慣れない作業であり、不備や不十分な点も多々残りました。しかしながら、次なる40周年に向けて、南平岸にお住まいの皆さまが南平岸地区を再発見し、町内会のつながりをより身近に感じていただく一助になれば幸いです。この記念パンフレットは、南平岸地区全戸に配布いたします。

創立30周年記念事業

松浦孝之、新井潤、松本正志、前田美江、竹部直子

■**記念祝賀会実行委員**／新井潤、松本正志、前田美江
古屋新一、髙須賀國雄、樋口正幸、松浦稔

■**記念パンフレット製作実行委員**／松浦孝之、新井潤
竹部直子、片庭將、橋本さおり

■**記念ホームページ製作実行委員**／松浦孝之、新井潤
橋本さおり

南平岸地区町内会連合会創立30周年記念パンフレット **私たちのまち南平岸**

発行●2024年(令和6年)3月31日
発行人●南平岸地区町内会連合会　会長　松浦孝之
町内会連合会事務局●札幌市豊平区平岸2条14丁目1-26 南平岸会館内
TEL●011・814・1440
Email●minahira.choren@gmail.com
https://minamihiragishi.jp
印刷●有限会社かりん舎

記念パンフレット製作にあたり、以下の資料（書籍、Webサイト、パンフレット等）を参考にしました。資料と画像等を快く提供くださった皆さまに心より感謝いたします。

平岸開基120年記念会「平岸百二十年」1990年9月
平岸百拾年記念協賛会「平岸百拾年」1981年10月
平岸小学校開校80周年記念祝賀会協賛会　郷土誌「ひらぎし」1969年9月
平岸小学校開校百周年記念事業協賛会「風雪百年」1989年11月
札幌市立陵陽中学校開校十周年記念協賛会　郷土誌「陵陽」1971年9月
札幌市立東山小学校開校20周年記念事業協賛会開校20周年　郷土誌「ひがしやま」1988年9月
東裏親交会「さなぶり　東裏百年ものがたり」(楡書房) 1980年3月
「道新りんごステーション」ホームページ
STV「どさんこワイド」(札幌の歴史探訪!てくてく洋二　vol.179)
赤塚修一様
上田雅俊様
極楽寺様
自衛隊札幌病院
平岸郷土資料館
札幌市資料
Google Earth Proより引用